SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

VI 海外大学・機関との交流 (年次報告(平成24年度後期・25年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-04-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松田, 紀子, ライアン, 優子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00007704

Ⅵ　海外大学・機関との交流

松田　紀子／ライアン　優子

1.　大学間交流協定

当該期間に、次の４件が新たに締結された（学術交流および学生交流）。

▶インド　スリ・ラマサミー・メモリアルSRM大学（H. 25. 3.）

▶台湾　国立台北科技大学（H. 25. 8.）

▶ウクライナ　タラス・シェフチェンコ・キエフ国立大学（H. 25. 9.）

▶ロシア　サンクト・ペテルブルク国立工業大学（H. 25. 10.）

これにより、本学学生の大学間交流協定に基づく交換留学派遣先は、平成25年10月１日現在で38校となっている。

2.　部局間交流協定

当該期間に、次の３件の協定が新たに締結された。

▶フランス　ジャン・ムーラン・リヨン第３大学（H. 25. 1，人文社会科学部）

▶スペイン　マドリッド工科大学光電子マイクロ研究所及び集積システム研究所（H. 25. 6，工学部・工学研究科）

▶ドイツ　ポツダム大学自然科学部（H. 25. 8，工学部・工学研究科）

3.　研究者交流

1）研究者招聘

平成25年３月に、インドネシアおよびタイの大学教員各１名を本学に招聘し、所属先大学と本学との交流協定および交流の内容についての打合せ、招待講演などを実施した。招聘した研究者はいずれも本学の元留学生であるが、これは、本学の既卒業留学生の情報を取りまとめて同窓会組織を構築し、その連絡網を確立することが、外部資金申請時に静大の国際交流の実績として不可欠であることから、全学から経費を獲得して実施したものである。今後は、既卒業留学生の同窓会組織立ち上げをさらに多くの国に展開し、卒業留学生間、卒業留学生と静大、さらに静岡県内企業等との密な連絡網を構築することを目指す。

3）研究者受入れ

平成25年１月－２月に、静岡県海外技術研修員（中国研修生）１名を、本学外国人研究者としてセンターで受入れた。この静岡県外技術研修員制度は、９月に来静後、１か月半の日本語研修を経て、10月半ばから２月末まで２機関で専門研修を受けるプログラムであり、平成25年度は、静岡県および静岡県日中友好協議会の依頼により、本学で初めての受け入れとなった。当該研究者の関心事項を考慮して、人文社会科学部経済学科の協力を得た結果、経済学科の居室が提供されたほか、センター運営の日本語教育プログラムやスキー研修旅行に参加、浜松キャンパス視察も行った。

4.　海外拠点整備

1）インドネシア海外事務所（ガジャマダ大学内）の機能強化

本学は、インドネシアの大学・企業との関係を強化すべく、平成22年2月にガジャマダ大学内に事務所を開設しているが、事務所の運営に加え、本学とインドネシア特にガジャマダ大学との間の往来訪への支援や、インドネシアにおける本学に関する情報提供・広報活動の強化の観点から、平成25年1月より、事務所現地相談員を配置した。これにより、相談員を介して、国際交流センターとガジャマダ大学の関係部局が関係を維持するのみならず、これまでの交流領域であった農学系に加え、新たに工学系で研究室交流を開始するにあたって相談員が積極的に調整に関わるなど、その効果が出ている。

2）タイ海外事務所

本学は、タイの大学・企業との関係を強化すべく、平成20年10月にタマサート大学内に事務所を開設している。平成24年3月に静岡大学の代表がタマサート大学東アジア研究所の新所長のPrasertsuk博士を訪問し、今後の静岡大学のタイ同窓会の立ち上げ準備に関する報告をし、今後の同事務所を活用したタイにおける研究・教育交流の発展について協議した。

3）ベトナム海外事務所

本学は、平成19年にベトナム・フエに海外事務所を設置したが、ベトナムにおける学生募集活動や研究交流活動は、同事務所を介さずに展開ができるようになったため、平成25年をもって閉所とした。今後は、引き続き、ベトナムにおける学術交流活動を発展させ、連携先を増やしていきながら、活動拠点の設置について検討していく。

5.　日本学生支援機構「留学生交流支援事業」

本事業は、学生の超短期での海外派遣・受入れを推進することを目的として平成23年7月より開始された奨学金事業「留学生交流支援制度（ショートステイ・ショートビジット）」（3か月未満）を一部取り込んで、平成25年度には「留学生交流支援事業（短期受入れ・短期派遣）」（短期研修・研究型：8日以上1年以内、交流協定留学型：3か月以上1年以内）として実施されているものである。高等教育機関には、交流校との間で短期の学生の派遣・受入れの教育プログラム（単位付与を伴う）を構築することが期待され、このプログラムに参加する学生に一定の奨学金が支給される。

本学では、平成24年度には4件が採択され（申請9件）延べ38名の学生が、また平成25年度には5件が採択され（申請9件）延べ65名の学生（うち岐阜大学8名）が、参加した。

6.　ダブルディグリー特別プログラム（複数学位制度、DDP）

本プログラムは、博士課程学生（本学では創造科学技術大学院）に対して本学および相手大学それぞれの指導教員が共同で研究指導を行い、最終的には両大学からそれぞれ博士学位が授与されることを目指すものである。これは、学生にとっては、一定期間を海外の大学に滞在して直接研究指導を受け国際色豊かな経験を積む海外留学であると同時に、両

大学にとっては、共同での研究指導を行うために、双方の指導教員の間でプログラム期間中はもちろん、開始前から非常に緊密な連携がとられることが必須であることから、共同研究と同様の学術交流としての意義もきわめて大きい。

当該期間（平成24年10月～平成25年9月）、本学ではひきつづき9件のDDPが展開している（アジア4校、ヨーロッパ5校）。

7．調査活動

海外からの博士学生・研究者の受け入れ態勢に関する現状、ニーズを把握し、国際的な研究活動、研究者交流、博士課程人材受け入れ態勢の充実化を図り、博士課程・研究活動関係部局との効果的な連携を構築するために、平成25年6月から7月にかけて「博士学生・研究者の受け入れ態勢に関する調査」を行った。調査質問票には、男女共同参画や博士キャリア支援などの学内機関からの質問も取り入れている。調査結果の報告を、本誌に掲載している。また結果から分かった課題、検討点を、今後の研究者交流、博士課程人材受け入れ態勢の充実化に活用する。

8．国際シンポジウム・会議

日時	内容	参加校
平成25年度前期		
6月19日	「日韓共同理工系学部留学生事業」協議会（静岡にて）	文部科学省、韓国国際教育院、慶熙大学校、日本37大学
9月1日	「日韓共同理工系学部留学生事業」留学推進フェア（韓国・ソウルにて）	韓国国際教育院、慶熙大学校、文部科学省、日本27大学
9月23日～27日	インターアカデミア2013＋ソフィア大学125周年祭典（ブルガリア・ソフィアにて）	ソフィア大学、オブダ大学、ワルシャワ工科大学、アレクサンドル・アイオアン・クザ大学、リガ工科大学、コメニウス大学他

9．協定校等の往来訪

日時	訪問者	往訪／来訪
平成24年度後期		
11月26日	フランス・リヨン第3大学　教員（人文社会科学部との部局間協定・学生交流の打合せ）	来訪
11月29日	カナダ・アルバータ大学Visiting Students Certificate Program（VSCP）担当職員（協定打合せ・VSCP説明会）	来訪
12月12日	シンガポール・国立シンガポール大学　学生5名（国際交流センター訪問、日本語授業参加）	来訪

日 時	訪　　問　　者	往訪／来訪
１月16日	インドネシア・インドネシア教育大学　日本語学科教員・国際交流担当（日本語授業参観、交流打合せ）	来訪
２月22日	フランス・ロレーヌ大学　松田教員（国際・欧州関係局訪問、大学間交流に基づく学生交流の打合せ）	往訪
３月５日	タイ・カセサート大学　ライアン教員・農学徳山教員（国際関係局・農学部訪問）	往訪
３月６日	タイ・タマサート大学　ライアン教員・農学徳山教員（本学事務所の点検）	往訪
３月６日	タイ・シーナカリンウィロート大学　ライアン教員・農学徳山教員（研究・国際関係部訪問）	往訪
３月６日～８日	インドネシア・ガジャマダ大学　農学部教員・本学客員教授（招待講演、事務所運営および交流打合せ）	来訪（招聘）
３月14日～15日	韓国　国立国際教育院・慶熙大学校　センター教職員５名（日韓共同理工系学部留学生の協議会および留学フェア打合せ）	往訪
３月25日～28日	タイ・シーナカリンウィロート大学　理学部教員（交流協定締結に向けた教育学部・農学部との打合せ）	来訪（招聘）
平成25年度前期		
４月１日	インドネシア・ガジャマダ大学　森林学部長ほか２名（研究・学生交流打合せ）	来訪
５月10日	アメリカ・ネブラスカ大学オマハ校　教員９名・教職員２名（UNOスタディツアーとして、センター訪問、教育学部と交流）	来訪
５月25日～26日	ベトナム日本留学フェア（ハノイ、ホーチミン）　センター教職員・工学研究科教職員４名	往訪
５月27日	ベトナム・ベトナム林業　ライアン教員・西山国際交流副課長（交流打合せ）	往訪
５月29日	モンゴル・モンゴル教育大学　国際課長（教育学部との交流協定の再締結および研究・学生交流に関する打合せ）	来訪
５月30日	スペイン・アルカラ大学　対外関係部職員（夏季スペイン語研修説明会および協定打合せ）	来訪
６月28日	カナダ・アルバータ大学　生涯学習センター長他２名（交流打合せ）	来訪
７月25日	ポーランド・ワルシャワ大学　学生など９名（日本語授業参観、本学学生との交流）	来訪
８月８日～９日	ドイツ・ポツダム大学　自然科学部教員（センター長訪問・交流打合せ、工学部・工学研究科での協定締結・研究室見学）	来訪

日 時	訪　　問　　者	往訪／来訪
８月26日	タイ・キングモンクット工科大学トンブリ校　生物資源工学科教員（センター訪問、農学部と交流打合せ）	来訪
９月１日	韓国・国際教育院　石井理事（教育担当）、センター教職員６名（日韓共同理工系学部留学生の留学フェア運営）	往訪
９月６日	ドイツ・ブッパタール大学　日本交流担当教員（学術・学生交流の打合せ）	来訪
９月13日～16日	ベトナム中部G30日本留学説明会・高校訪問（ダナン、フエ、ハノイ）　松本教員・山林職員（工学）、西山国際交流副課長・松田教員	往訪
９月23日～27日	ブルガリア・ソフィア大学　本学教員・学生・鈴木副学長（国際戦略担当）・松田教員・ライアン教員（インターアカデミア2013＋ソフィア大学125周年祭典）	往訪
９月25日	スロバキア・コメニウス大学　松田教員（学生交流の打合せ）	往訪
９月26日～28日	ブルガリア・ソフィア大学　鈴木副学長（国際戦略担当）・松田教員（欧州首都大学ネットワーク学長会議UNICA出席）	往訪